

主体的に取り組む児童の育成 ー3つの視点を取り入れてー

1 テーマについて

名古屋市では、令和5年9月に「ナゴヤ学びのコンパス」が策定され、子どもたちが自分らしく、幸せに生きていくための学びの基本的な考えが示された。その中には、子どもたちが自らの人生を切り拓いていくための資質・能力を育てるために、「子ども中心の学び」を実現していく必要性が強くうたわれている。

昨年度は、「ナゴヤ学びのコンパス」で示された学びの姿と、現在の守山小学校の子どもたちの姿を照らし合わせながら、目指す子ども像について教職員全体で意見を出し合い、「主体的に取り組む児童の育成」を努力点のテーマとして設定した。その結果、主体的に取り組むためには、自分の考えを他者に否定されず表現できる集団の「安心感」の醸成、選択したり試したりする「場」の設定、自分の考えと他者の考えや本時のめあてを比較して見直す「アップデート」する活動が必要であることが分かった。今年度は、上記の3つの視点である「安心感」「場」「アップデート」をキーワードとし、目指す児童像に迫っていきたい。

※ 努力点の様子については、もりの子だより等でお知らせしていきます。